

さいたま市立大宮北高等学校 第68回入学式 祝 辞

令和5年4月7日（金）

春の息吹が感じられるこの佳(よ)き日に、さいたま市立大宮北高等学校に入学された皆さん、御入学おめでとうございます。

こうして壇上から皆さんの姿を見ていますと、緊張感の中にも、夢、情熱、強い意志にあふれた様子を伺うことができ、私も感動で胸がいっぱいになります。

思えば、皆さんは、新型コロナウイルス感染拡大のため、小学校の卒業式も中学校の入学式もままならず、授業、学校行事や部活動に、この三年間影響を受け続けてきた学年です。しかし皆さんは、仲間と協力し、知恵を出し合い、世界の誰も正解を持たないこの難問と向き合い、ここまで最大限の力を発揮してこられました。本日、見事にハレの日を迎えられた皆さんに、私から祝辞を述べさせていただきます。

さて皆さんは、Society 5.0についてご存じでしょうか。

地球が誕生して四十六億年。人類は、その一瞬わずか数万年で社会を築いてきました。その間、狩猟社会 Society 1.0、農耕社会 2.0、工業社会 3.0、情報社会 4.0 と、人類は、いくつもの挑戦といくつもの挫折を乗り越え発展してきました。そして、Society 5.0 は、Society 1.0 から 3.0 のフィジカル空間と Society 4.0 のサイバー空間との高度な融合を通して、新しい価値を創造する人間中心の社会です。

では、Society 5.0 はいつ頃やってくるのでしょうか。ある人はもうすぐに、ある人はもうすでにと考えているようですが、いずれにしても、Society 5.0 は放っておくとやってこない社会であり、むしろ積極的に作り上げるべき社会であると捉えた方がよさそうです。

つまり、Society5.0 は AI やロボットに支配される社会ではなく、人間が中心となる社会を、私たち自身が作り上げていかなければならないということなのです。

世界を震撼させた Chat GPT の出現で、AI が人類を超えていく分岐点といわれるシンギュラリティが始まったのかという声も聞かれますが、私は、私たちが AI と良質なコミュニケーションを取る力を付けていけば、考えを深める道具としてこのテクノロジーを見事に活用していけると考えます。

ですから、私は、皆さんたちに、大宮北高校で学ぶ三年間で、AI を使いこなし、社

会をよりよくする新たな価値を創造できる人材としての基礎力を付けたいと願っています。

さいたま市教育委員会では市立高校の生徒を対象に、アメリカのシリコンバレーで学ぶ「イノベーションプログラム」という海外でのフィールドワークを実施しています。このプログラムは、スタンフォード大学発祥の人間を徹底的に大切にする「デザインシンキング」をベースにし、社会をよりよくするための新たな価値を創造するプロセスを、シリコンバレーでの体験を通して学ぶ構成になっています。参加者は、Google, Apple, Oracle, Stripe などの世界をリードする IT 企業を訪問し、そこで働くプラットフォームたちに世界で働くことの醍醐味を直接伺ったり、実際に自分たちのビジネスプランを現地の投資家にプレゼンしたり、わくわくするようなリアルな体験をします。私も、令和四年度のプログラムに同行し、十名の高校生たちと大変刺激的な時間を過ごしました。そこで出会った起業家のお一人が、このようにおっしゃっていました。「失敗を恐れず何度でも挑戦しなさい。イノベーションは失敗から生まれるものです。魅力的な電気自動車ステラや、宇宙飛行に大変革をもたらしたスペース X を実現させたイーロンマスクだって、数えきれないほど失敗しましたよ。だけど、それが人間にとって本当に大切なことだと考えているから、成功するまで絶対にあきらめなかったのです。」と。

大宮北高校は、普通科、理数科併置校という STEAMS 教育を体現する学校です。あなたの未来に必要な学びが必ず提供される、革新的な学校です。期待してください。

保護者の皆様、本日はお子様の御入学、誠におめでとうございませう。お子様が自ら志願し、自らの努力で得ることができた高校生活が充実したものとなりますように、今後とも御協力とお力添えをお願いいたします。

そして、根岸校長先生をはじめ教職員の皆様、地域の皆様、生徒のよりよい人間形成のため、御指導、御支援を賜りますようお願いいたします。

さて、新入生の皆さん、いよいよ大宮北高校での生活が始まります。皆さんたちが、予測できない未来にどのように挑戦していくかとても楽しみです。第六十八期の生徒一人ひとりが素晴らしい「成長物語」を紡いでいかれることを祈念して、私の祝辞といたします。